

# 糖尿病受療者階層化による重症化予防への取り組み

研究発表者：香川県国民健康保険団体連合会 森田 光弘

共同研究者：松浦慎太郎・岡野由佳・藤本宗洋・真鍋智視・近藤高行

香川国保データ分析システム検討委員会

## 【目的】

本県では糖尿病の受療率が全国ワースト1位になったこと、また糖尿病は重症化により高額医療の対象となりうる疾患であることから、レセプト情報および特定健診データを活用した糖尿病受療者の治療状況による階層化システムを構築し、その階層化ごとに重点的な重症化予防対策に取り組むことで医療費適正化を図ることを目的とする。

## 【方法】

レセプト情報から抽出した糖尿病受療者データと特定健診結果データを活用し、治療状況の階層化によって、要介入対象者や治療中断者等を特定、重点的に介入を要する対象者として抽出する。さらに、本会システム利用による事業円滑推進のため設置した検討委員会において、重症化予防対策を全県的に取り組み、評価する実施体制を整備する。

- ① レセプト情報を活用した糖尿病受療者の治療状況による階層化の実施
- ② 階層化した糖尿病受療者と特定健診結果データを突合
- ③ 上記により階層化毎に抽出した対象者に対する重点的な重症化予防対策の検討、実施
- ④ 階層化別要介入対象者、治療中断、(再)受診勧奨者リスト作成

## 【今後の予定】

### (事業評価・データ管理)

今後は介入記録のデータ管理により、未介入者との差異を検証、人工透析患者の推移等も把握する。

### (歯科との連携)

歯周病は、糖尿病における腎症、網膜症、神経障害、大血管障害、小血管障害に次ぐ第6の慢性合併症ともいわれており、糖尿病があると、歯周病が発症・悪化しやすいことがわかっている。近年においては、糖尿病患者に対し歯周病の治療・管理を行うことによって血糖コントロールが改善することが示されており、糖尿病と歯周病の間には双方向の関連性が示唆されている。

このことにおいて県歯科医師会と連携し、本県独自実施の特定検診に付加した歯科質問結果によるスクリーニングにて歯科受診勧奨を行い、歯科受診による糖尿病重症化予防対策を推進予定である。